

はと
九鳥の峯
みね

No.27
2013
3.31

平成25年3月31日



主な内容

フィールドワーク	2P
自主防災会等訓練	2P
高浜ぶどう	2P
還暦同窓会	3P
おね火	3P
成人式	3P
里浜づくり	4P
花作り	4P
編集後記	4P

振興会地域づくり部会の主催事業

「里浜づくり事業」

地域の宝「白鶴浜」を見直そう・感じようと平成19年4月23日に振興会において「里浜づくり宣言」を採択しています。

今回は、高浜公民館の歴史事業との連携で白鶴浜から恵比寿神社をグルッと回る「お地蔵様めぐり」を開催しました。

フレード

東京大報告会盛会に終る

高浜地区振興会長 大里 集

去る2月21日(木)午後1時から、高浜フレードワーク・

リデザインワークショップ東

京大報告会が東京都中央区の

株)内田洋行本社ビル・東京ユ

ピキタス協創広場ギャンパス

にて開催されました。

東京高浜会の川原利之会長をはじめ4名が祝辞を述べられ、続いて基調講演・成果報告・記念シンポジウムなどが行われ、50名を超える参加者が熱心に耳を傾けていました。高浜地区振興会より参加した5名が、それぞれの分野で力強い報告を行いました。

午後5時に閉会し、その後、会場では懇親会として「せんだご汁」「こつば餅」「漬物」などが振舞われ、田舎の味に舌鼓を打ち、最後には天草のミカンをお土産として持ち帰っていました。

この報告会の企画は、前2回のフィールドワーク参加者である(株)内田洋行の若杉浩一さん(河浦出身)から、九州大学大学院の藤原恵洋教授に提



案がなされて実現したものです。「なぜ東京で報告会を行うのか?」「地方と都市部の格差の実態を考え、地域性の価値や意義を丁寧に見つけ出しながら、都会に対し提示していくことが、地方再生の有効な手法ではないかと構想し、高浜地区振興会の皆様に参加を要請し、懐かしいふるさとの薰りをふんだんに持ち込んで頂くことになりました。」と九州大学の藤原教授は述べられています。



2月24日(日)、高浜公民館で高浜地区自主防災訓練の一環として天草市社会福祉協議会天草支所が実施している災害ボランティア養成講座が共同で開催されました。この取り組みは地域住民の防災意識・防災知識の向上、地域住民相互の協力体制の確立を目的として行われており、当日は高浜地区の住民の参加をいただき、約百名分の米が一度に炊ける大型の移動式かまどを使い、特別な炊飯袋を利用して災害時の炊き出し訓練を行いました。



毎月第2水曜日に定例会を行ない、作業日程を調整しながら、途中、研修を行うなど精力的な活動を行いました。

- 加工品作り
(ゼリー・ジャム・リキュー等)
- 挿木への水かけや消毒作業
- ぶどうの挿木
- 熊本県果樹研究所での栽培研修
- 高浜ぶどうの販売
- 新たなぶどう棚作り



自主防災会等訓練

高浜ぶどう

～高浜ぶどうの一年～

ぶどう班は賑い事業の中で、高浜の歴史と風景で地域を盛り上げる企画として「高浜ぶどう」の復活を手がけてきました。

どうの木に実はなったものの、長雨のため病気にかかり、残念ながら収穫には至りませんでした。様々な反省を踏まえ、一粒一粒のぶどうに真摯に向き合つていこうと班員で活動を盛り上げています。まずは一粒・一房。小さな成功を重ねていこうと思います。

皆様もぜひ、このプロジェクトにご協力ください。



還暦同窓会

懐かしい友との再会



今年1月2日には、昭和28、29年度生まれの還暦同窓会に、高浜小・中学校同窓生45名が集い、小学校時代の2名の恩師に花を添えて頂いた。同窓生との再会に胸をふくらませ、この日のために、はるばる、関東、関西方面からも多くの友が駆け付けてくれた。恩師は80歳を越えていても、私たちの名前や小学校の様子をよく覚えておられ、当時の思い出、話が弾み多いに盛り上がった。会場が小・中学校の頃へ戻りしたかのように大いに盛り上がり、楽しいひとときがあつという間に過ぎていった。また、校歌をみんなで合唱し、再開を約束して同窓会を閉会とした。懐かしい友との再会の一日だった。



1月8日(月)高浜公民館主催の「おね火」が行われました。

一般的には「鬼火」といわれますが、高浜地区では、方言によるなまりで「おね火」となっているようです。

孟宗竹や川竹で組み上げた櫛の中には、それぞれ家庭から持ち寄られた正月飾りが加わっていきます。

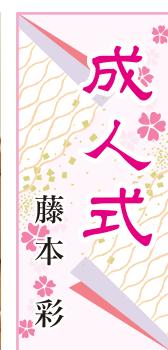
午後5時30分、今年の年男の川原さんと年女の中田さんに火入れを行つていただきまし

「パチパチ…ボオーン！」炎は勢いよく燃えさかり、集まつた皆さんは温かい「ざんざい」を食べながら、一年の無病息災(家内安全)を祈願しました。

風もなく、寒さも穏やかな、まさに「おね火」日和の一日でした。

名前も「おね火」日和の一日でした。

もう私たちも大人の仲間入りです。これまで一緒に過ごしてきた友達、多くのことを教えてくださった先生方、いつも声をかけ見守つてくれました地域の方々、20年間育ててくれた家族に感謝の気持ちを忘れず、大人の自覚と責任を持つて日々の生活を送つていいたいと思います。



成
人
式
藤
本
彩



平成25年1月3日、天草地区成人式が高浜公民館で行われました。



故郷天草の活性化という目標に向け、頑張っていきたいです。

私は、4月から大学3年生になり、就職活動が本格的に始まります。

私は、4月から大学3年生になり、就職活動が本格的に始まります。

名前も「おね火」日和の一日でした。

中学校卒業以来、久々に会つた友達もあり、懐かしい時間過ごすことができました。

小学校や中学校に戻つたよ

うな気持ちになり、とても樂

しい時間を過ごすことができ

ました。

温かい善意のご寄付
ありがとうございます

高浜地区	
(平成25年3月1日現在)	
人口	1,352人
男	619人
女	733人
世帯数	659戸
高齢化率(65歳以上)	585人(43.27%)



1月20日午前9時から地蔵めぐりが30数名の人達の参加をえて行われました。参加人数は集まるだろうかと心配していましたが、思つたより参加者が多く、諏訪の迷路のような路地を初めて通るなど、参加者にとっては新しい発見の連続でした。また、銭角の高台より望む白鶴浜の景色に、感激の声がどんどん出てきました。最後は恵比須神社を経由して白鶴浜松林を散策、高浜にいながらまだ知らないところが沢山あることに気付きました。これからも高浜を歩かなければと思う、高浜を歩くでした。

里浜づくり

「ぐるっとさるく白鶴浜・地蔵めぐり」 田中 光徳



花作り活動

2月21日と3月14日の両日、中向の一品会(会員約20名)が高浜八幡宮の参道にアジサイの植栽、高浜中央バス停付近に花の植栽をそれぞれ行いました。当会は毎月月末に参道の清掃も実施しています。また、白木地区においても、国道沿いに花作りが行われました。

でも、心配な事もあります。大陸からの大気汚染や黄砂までも、冬の寒さが厳しく、早く暖かくならないものかと思つてました。

さあよいよ春本番です。待ちに待つた春が訪れます。うとしてます。今年も本当に冬の寒さが厳しく、早く暖かくならないものかと思つてました。

でも、心配な事もあります。大陸からの大気汚染や黄砂までも、冬の寒さが厳しく、早く暖かくならないものかと思ひます。屋外で仕事される方は大変だと思います。十分気を付けて欲しいと思っています。

先日、知人に「この本を読んでみませんか」とある本をお借りする機会がありました。この頃活字に触れることが少なかつた私にとって大変ありがたい機会でした。お借りしてしまいました。後になつて、いい時に本をお薦めして頂いたと感謝している自分がそこにいました。

感謝と言えば、弊誌鳩の峯もこの春で8年目になります。地域の皆さんや出郷されている方々のご協力ご支援があればこそと感謝申し上げます。今後もどうぞ宜しくお願ひ致します。

編 集 後記